

平成30年度（繰越事業）志教総第5号
東海中学校 空調機設置工事

図 面 目 録								
図面番号	工 事 範 囲	図 面 内 容	図面番号	工 事 範 囲	図 面 内 容	図面番号	工 事 範 囲	図 面 内 容
A-01	建築工事図	特記仕様書	M01	機械設備工事図	特記仕様書1（機械設備の部）	E01	電気設備工事図	電気設備特記仕様書
A-02	〃	配置図・付近見取図	M02	〃	空調設備 機器表	E02	〃	電気設備配置図
A-03	〃	1階平面図	M03	〃	空調設備 1階平面図	E03	〃	受変電設備図
A-04	〃	2階平面図	M04	〃	空調設備 2階平面図	E04	〃	空調電源設備 1階平面図
A-05	〃	3階平面図	M05	〃	空調設備 3階平面図	E05	〃	空調電源設備 2階平面図
A-06	〃	矩計図・技術科室カーテン詳細図	M06	〃	空調設備 1・2階平面図	E06	〃	空調電源設備 3階平面図
A-07	〃	建具表	M07	〃	空調設備 立面図			
A-08	〃	1階天井伏図	M08	〃	空調設備 1階平面図（既設撤去）			
A-09	〃	2階天井伏図	M09	〃	空調設備 3階平面図（既設撤去）			
A-10	〃	3階天井伏図						
A-11	〃	仮設計画図<参考図>						

特記事項		前野・西沢特定建築設計共同企業体 株式会社 前野建築設計 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 699号 西沢建築設計事務所 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 464号	管理建築士	一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計年月日	工事名称	平成30年度（繰越事業）志教総第5号 東海中学校 空調機設置工事	図面番号	
			管理建築士	一級建築士 第117422号 西沢 雅彦	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	平成31年1月 日	図面名称	図面目録	縮 尺	NS

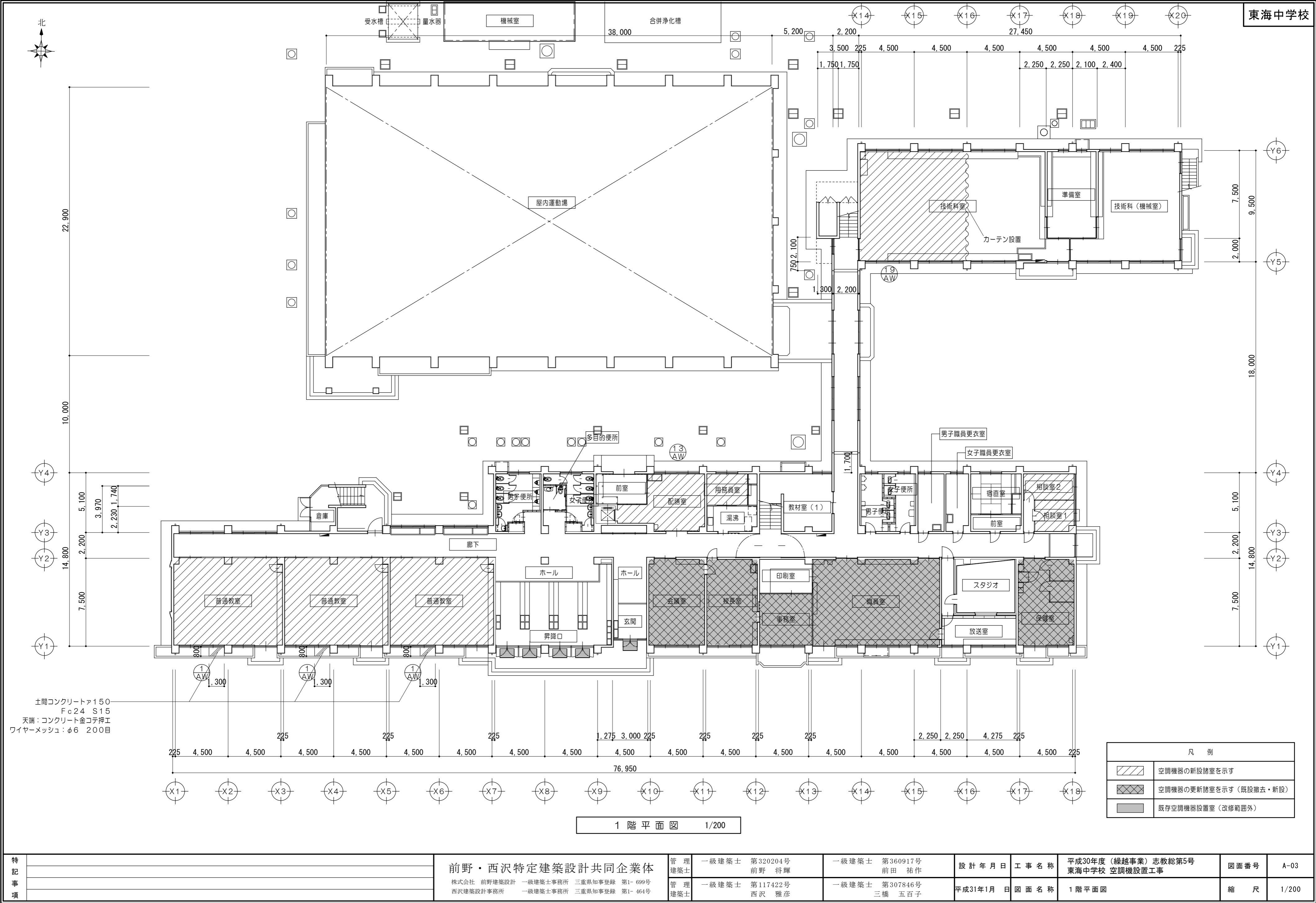
特記仕様書： 共通事項・仮設工事		章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																														
1. 共通仕様 (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、三重県公共工事共通仕様書及び「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成28年版)」による。(以下「標準仕様書」という。)による。 (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。 電気設備工事の工事仕様書は() 図、 機械設備工事の工事仕様書は() 図による。 (3) 改修工事を本工事に含む場合は、改修工事は改修工事の工事仕様書を適用する。 改修工事の工事仕様書は() 図による。 (4) 受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査(同法第7条の3の定めによる中間検査を含む)時には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料(報告書等)を用意すること。		① 共通事項	また、分別解体・再資源化の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を画面にて監督職員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン(平成14年5月)」に定めた様式1(再生資源利用計画書(実施書))及び様式2(再生資源利用促進計画書(実施書))を兼ねるものとする。 本工事が「建設リサイクル法」の対象工事外である場合においても前記に準じ適切な措置を講ずるものとする。 建設リサイクル法 ・対象工事 ・対象工事外 ①別表1 建築物に係る解体工事 工程ごとの作業内容及び解体方法 工程 作業内容 分別・解体の方法 ○建築物、内装材等 ○有 ・手作業 ・無 ○手作業と機械作業の併用 ・屋根ふき材 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・外装材・上部構造部分 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・基礎、基礎ぐい ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・その他() ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・別表2 建築物に係る新築工事等(・新築 ・増築 ・修繕 ・模様替) 工程ごとの作業内容及び解体方法 工程 作業内容 分別・解体の方法 ・造成等 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・基礎、基礎ぐい ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・外装材・上部構造部分 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・屋根 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・建築物、内装等 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・その他() ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・別表3 建築物以外の物に係る解体工事又は新築工事等(・外構 ・工作物等) 工程ごとの作業内容及び解体方法 工程 作業内容 分別・解体の方法 ・仮設 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・土工 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・基礎 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・本体構造 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・本体付属品 ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 ・その他() ・有 ・手作業 ・無 ・手作業と機械作業の併用 手作業・機械作業を併用する理由 建築物の取り外し() 内装材の取り外し() 屋根ふき材の取り外し() 化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から5)を満たすものとする。 1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上塗材は、ホルムアルデヒドを放散しないか、発散が極めて少ないものとする。 2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを放散しないか、発散が極めて少ないものとする。 3) 接着剤はフタル酸ジブチル及びフタル酸ジエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、発散が極めて少ないものとする。 4) 塗料はホルムアルデヒドトルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、発散が極めて少ないものとする。 5) 1)、3)及び4)の建築材料を使用して作られた家具、書架、実験台その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、発散が極めて少ないものとする。 また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 該当する材料 規制対象外 ①J I S及びJ A SのF☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通省大臣認定品 ③次の表示のあるJ A S適合品 a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b. 接着剤等不使用 c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d. ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料 第三種 ①J I S及びJ A SのF☆☆☆☆品 ②建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通省大臣認定品 ③旧J I SのE0品 ④旧J I SのF☆☆☆☆品	⑧ 材料の品質等 [1.4.2] 1) 本工事に使用する材料等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品または同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4) 本工事に使用する材料は、次の①～⑥の事項を満たすものとし、この証明となる資料(外部機関が発行する証明書等の写し等)を監督職員に提出し承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員に承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の監理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を所得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 5) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを仕様する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続性可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督職員に提出すること。 6) 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「志摩市公共建築物等木材利用方針」に基づく木材を最優先し、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用につとめること。 ・構外搬出適切処理 [3.2.5] ・自由処分 ・処分地指定 処分地() ・処分地未定につき相互協議する。暫定運搬距離 8Km 本工事で建設汚泥が発生する場合は「建設汚泥の再生利用に関するガイドライン」の策定について(国営計第36号 平成18年 6月12日)、「建設汚泥の再生利用に関する実施要領について(国営計第38号 平成18年 6月12日)」に基づき建設汚泥の再生利用を行う。 再生利用の種別 ・埋戻し及び盛土材として利用 再生処理方法 ・脱水処理 ・安定処理(セメント、石灰による改良処理) 要求品質 「建設汚泥処理土利用技術基準について(国営計第41号 平成18年6月12日)表ー4 建設汚泥処理土の適用用途標準」における下記の区分とする。 ・第3種処理土 [1.5.9] 測定室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、報告すること。 測定対象化学物質(●で示したものとします。) <table><tr><td>施設用途</td><td>ホルムアルデヒド</td><td>トルエン</td><td>キシレン</td><td>エチルベンゼン</td><td>スチレン</td><td>パラジクロロベンゼン</td></tr><tr><td>学校教育施設</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td>住宅</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td></td></tr></table> 報告書提出部数 2 部 対象箇所(・図示) 測定方法 ・パッシブ採取による蒸気拡散式分析法 ・厚生労働省の標準法 [1.7.1～3][表1.7.1] ○完成図(施工図、施工計画書を除く) ・新規に作成 ○既存完成図を修正 記載内容は監督職員と協議する。 完成図CADデータ(CD-R) ○保全に関する資料 提出 ・2部 ・ ○施工図(・) 提出 ・原因及びその複写図1部 ・ ○施工計画書(・) 提出 ・1部 ・ ○空調利用計画書(空調設置後の運用方式について、省エネには配慮した利用計画書を作成すること) 提出 ・2部 ・ 本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に委譲するものとする。 製作図等で原因として提出が出来ないものは、原因に変わるものとしてよい。 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 ・設計GL=BM+ mm(現状地盤高は図示) 低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定に基づき指定された建設機械の使用に努めること。 本工事の施工範囲 ○図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強 ○図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ・駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ○設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン	学校教育施設	●	●	●	●	●	●	住宅	●	●	●	●	●		その他	●	●	●	●	●		① ⑩ 工事写真 共通事項 ⑪ 完成写真 撮影箇所数 ・外観4面程度 本完成写真の著作権の権利は、発注者に委譲するものとする。 提出内容 ○電子データ 1部 画素：長辺で2880P I X以上 記録方式：R G B (フルカラー)、J P E G最高画質 記録媒体：C D - R (I S O) ○カラープリント キャビネ版() 部 アルバム(大きさ335mm×290mm程度) ・無し ・有り ⑬ 事故報告 工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。 ⑭ 養生その他 工事施工に際し、在来部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、在来にならぬ補修する。 20 消防提出書類 ・消火器の設置届については、電気及び機械設備について設置届が不要な場合は、建築にて設置届を提出するものとする。 ・防火対象物使用開始届については書類作成(建築図面の用意及び建築に関する部分の記述)を行うこと。 ②①主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間 検査完了後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみ残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に通知した日とする。 a 関係官公署その他への関係機関への必要な届出手続等の種別、手順、時期等を一覧表にしてあらかじめ監理者に提出する。 b 関係官公署その他の立会い検査を必要とするものは、監理者と打合せのうえ、検査を受け、その結果を監理者に報告する。 c bの検査の結果、不合格の箇所がある場合は、すみやかに補正し、必要な手続を行い、その結果を監理者報告する。 d cの補正に直接要する費用は施工者の負担とする。	② ①足場 [2.2.4] 足場を設ける場合、[2.2.4](b)によるほか、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」(厚生労働省 平成21年4月「手すり先行工法に関するガイドライン」について(別紙1))における2の(2)手すり据置方式、又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 ② ②監督職員事務所 [2.3.1] ・設ける ○設けない 規模(m2程度) ・10 ・20 ・35 ・65 ・100 備品等の設置 <table><tr><td>種類</td><td>机・いす</td><td>書棚</td><td>黒板・白浜</td><td>掛時計</td><td>温度計</td></tr><tr><td>数量</td><td>組</td><td>台</td><td>個</td><td>個</td><td>個</td></tr><tr><td>種類</td><td>長靴</td><td>雨合羽</td><td>保護帽</td><td>懐中電灯</td><td>衣類のかけ</td></tr><tr><td>数量</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td><td>個</td></tr><tr><td>種類</td><td>消火器</td><td>捕除具</td><td>請負者加入電話・FAX</td><td>イヤークロ</td><td>冷暖房機器</td></tr><tr><td>数量</td><td></td><td>個</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td></tr></table> ④ 仮設便所 ⑤ 工事用水 ⑥ 工事電力	種類	机・いす	書棚	黒板・白浜	掛時計	温度計	数量	組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類のかけ	数量	足	着	個	個	個	種類	消火器	捕除具	請負者加入電話・FAX	イヤークロ	冷暖房機器	数量		個	個	台	台	特記事項
施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジクロロベンゼン																																																																	
学校教育施設	●	●	●	●	●	●																																																																	
住宅	●	●	●	●	●																																																																		
その他	●	●	●	●	●																																																																		
種類	机・いす	書棚	黒板・白浜	掛時計	温度計																																																																		
数量	組	台	個	個	個																																																																		
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類のかけ																																																																		
数量	足	着	個	個	個																																																																		
種類	消火器	捕除具	請負者加入電話・FAX	イヤークロ	冷暖房機器																																																																		
数量		個	個	台	台																																																																		
特記事項		前野・西沢特定建築設計共同企業体 株式会社 前野建築設計 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 699号 西沢建築設計事務所 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 464号	管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝 管理建築士 一級建築士 第117422号 西沢 雅彦	一級建築士 第360917号 前田 祐作 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計年月日 工事名称 平成30年度(繰越事業)志教総第5号 東海中学校 空調機設置工事 図面番号 A-01	図面名称 特記仕様書 縮尺 NS																																																																	

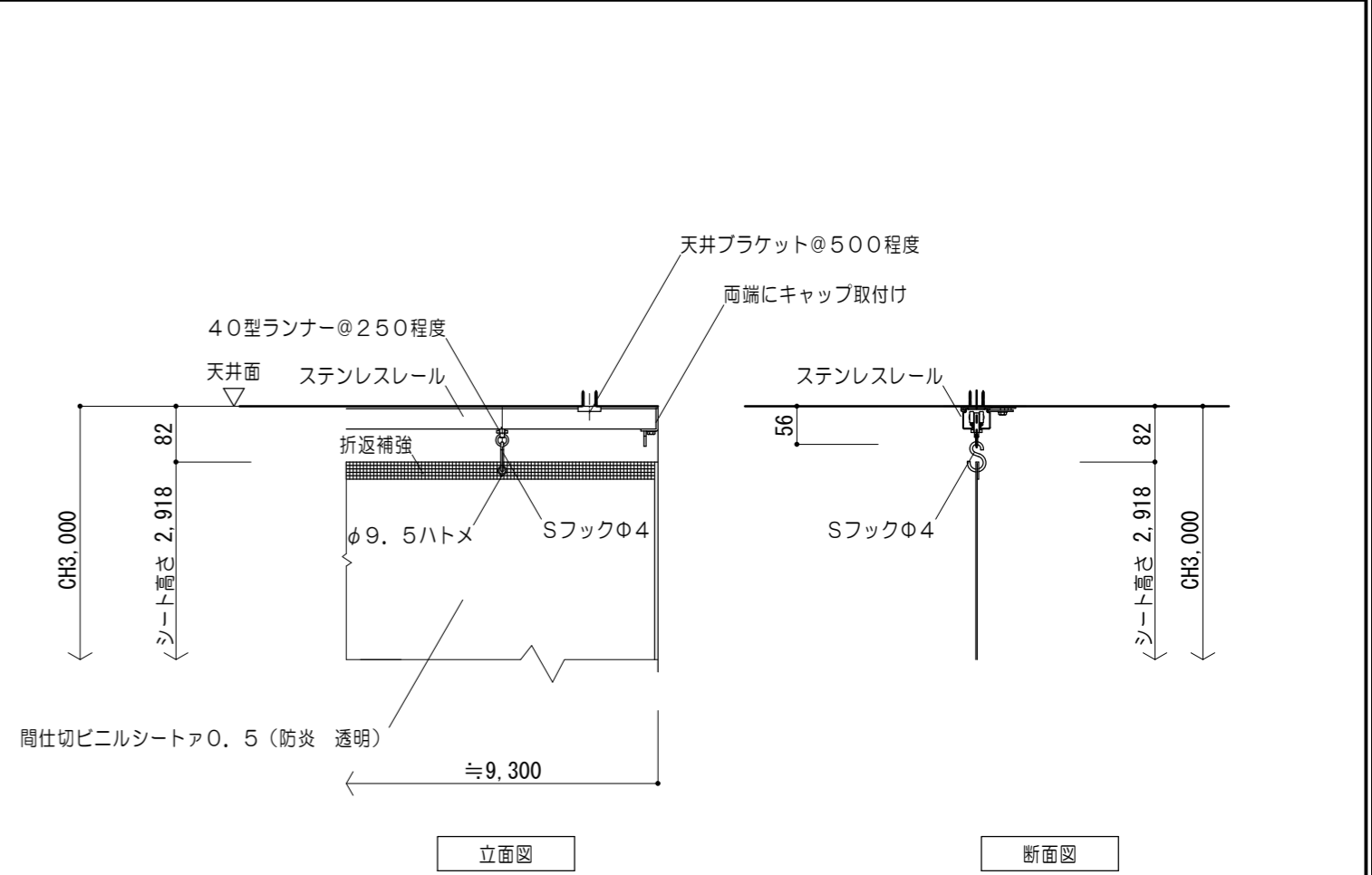
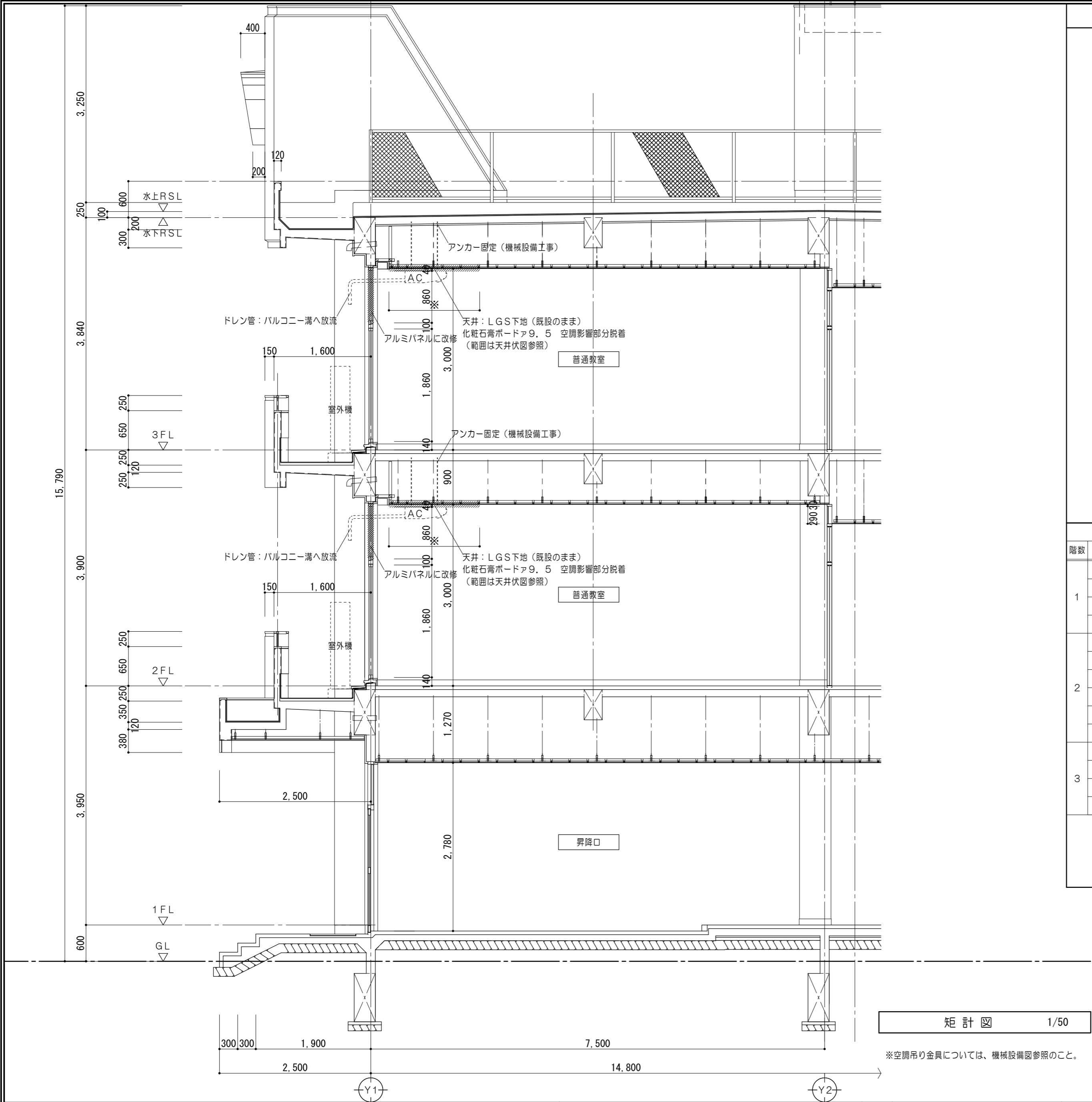


凡

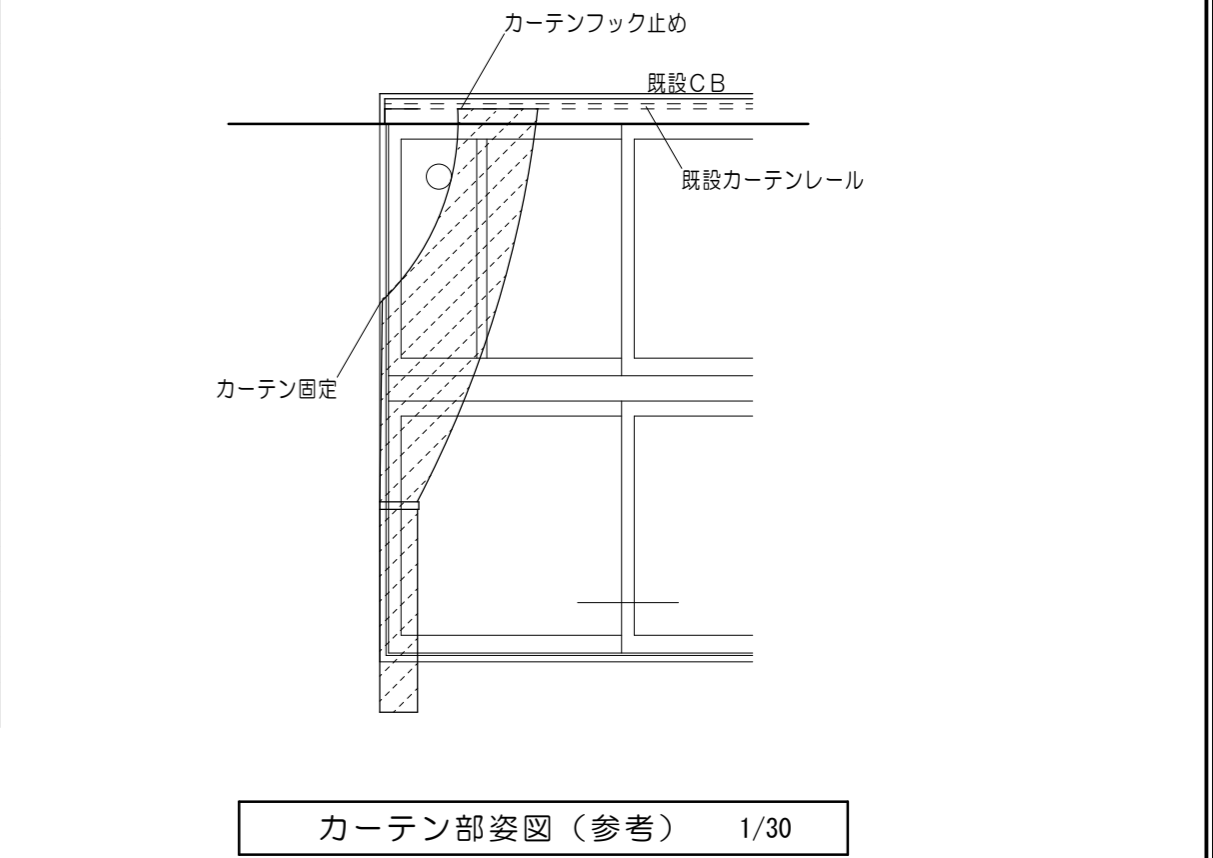
工事範囲を示す。

[illegible]






凡 例			
階数	室 名	カーテン	暗幕
1	普通教室	1	—
	普通教室	1	—
	多目的室	1	1
	技術科室	1	—
2	理科室(1)	—	2
	普通教室	1	1
	少人数教室	1	1
	普通教室	1	1
	図書室	1	—
3	被服室	1	—
	普通教室	1	1
	少人数教室	1	—
	普通教室	1	—
	美術教室	1	—

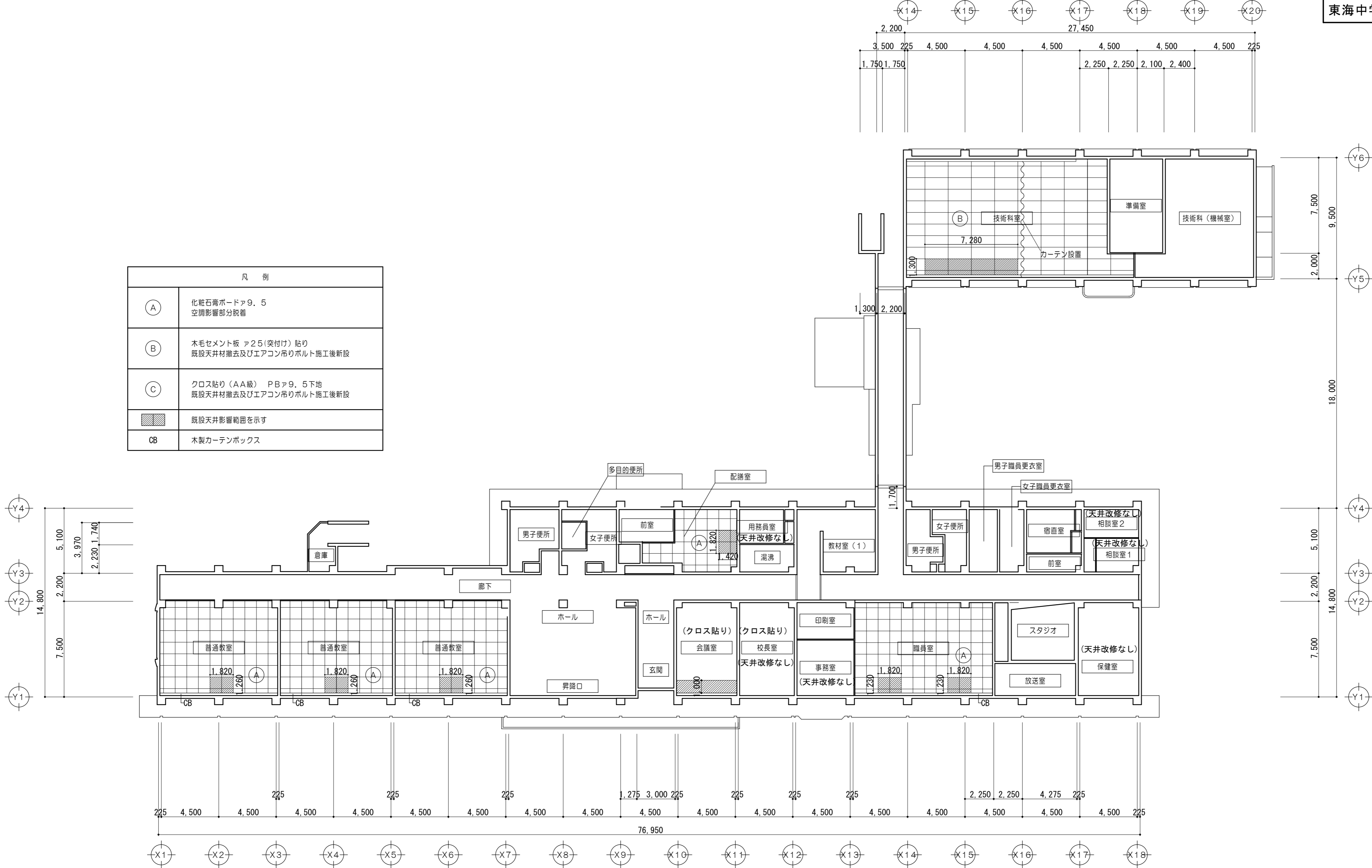


矩 計 図 1/50

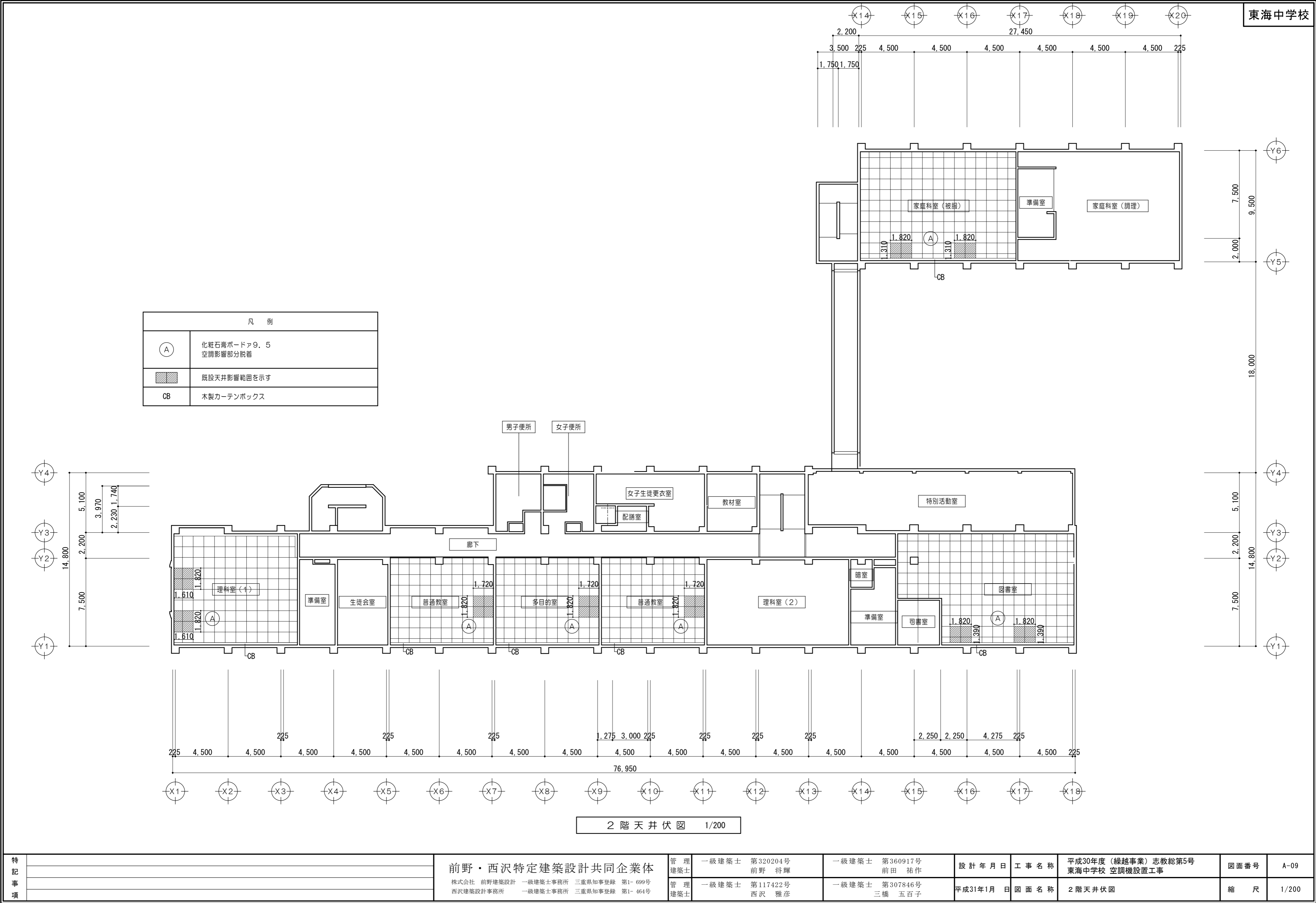
※空調吊り金具については、機械設備図参照のこと。

建 具 表 ＜ 改 修 建 具 ＞																	
1/100			※新設ガラス部には、飛散防止フィルム張りとする。														
符号名称数量		①AWランマ引違い付2連引違いアルミサッシ		改修前		5		改修後		①bAWランマ引違い付2連引違いアルミサッシ		改修前		1		改修後	
姿 図																	
見 込	硝 子	7 0	スリガラスA3		アルミパネルA3		7 0	スリガラスA3		アルミパネルA3							
仕 上	アルミシルバー																
室 名	1階：普通教室、2階：普通教室、図書室、3階：普通教室、美術教室、音楽教室																
符号名称数量		②AWランマ引違い付2連引違いアルミサッシ		改修前		6		改修後		①3AW2連引違いアルミサッシ		改修前		1		改修後	
姿 図																	
見 込	硝 子	7 0	スリガラスA3		アルミパネルA3		7 0	フロートA5		アルミパネルA3							
仕 上	アルミシルバー																
室 名	1階：普通教室、2階：普通教室、図書室、3階：普通教室、美術教室、音楽教室																
符号名称数量		①9AW2連引違いアルミサッシ		改修前		2		改修後		②4AWランマ引違い付2連引違いアルミサッシ		改修前		1		改修後	
姿 図																	
見 込	硝 子	7 0	網入り板A6、8		アルミパネルA3		7 0	スリガラスA3		アルミパネルA3							
仕 上	アルミシルバー																
室 名	1階：技術科室、2階被服室、調理教室																




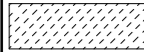
凡 例	
Ⓐ	化粧石膏ボードφ9.5 空調影響部分脱着
Ⓑ	木毛セメント板 φ25(突付け) 貼り 既設天井材撤去及びエアコン吊りボルト施工後新設
Ⓒ	クロス貼り (AA級) PBφ9.5下地 既設天井材撤去及びエアコン吊りボルト施工後新設
	既設天井影響範囲を示す
CB	木製カーテンボックス



特 記 事 項		前野・西沢特定建築設計共同企業体 株式会社 前野建築設計 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 699号 西沢建築設計事務所 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 464号	管 理 建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝 管 理 建築士 一級建築士 第117422号 西沢 雅彦	一級建築士 第360917号 前田 祐作 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設 計 年 月 日 工 事 名 称 平成31年1月 日 図 面 名 称 平成30年度（繰越事業）志教総第5号 東海中学校 空調機設置工事	図面番号 縮 尺 A-08 1/200





凡 例	
――	仮囲い A型バリケード等
	外部足場：くさび緊結式足場（手摺先行方式）H＝5.8m 養生シート
	工事車両搬出入経路
	交通誘導員配置（大型車両搬出入時）
	仮囲い撤去後、整地を行うこと

＜管理教室棟＞

※バルコニーの外部側は、脚立足場を設置する。

また、バルコニーでの作業については、墜落防止措置を講じること。
（親綱を設置し、安全帯を着用すること）

※空調室外機等大型資材の荷揚げは、クレーン車とする。

上記以外の資材については、内部からの搬入とする。

内部搬入経路は養生を行うこと。

＜特別教室棟＞

※空調室外機等大型資材の荷揚げは、外部足場からとする。

上記以外の資材については、内部からの搬入とする。

内部搬入経路は養生を行うこと。

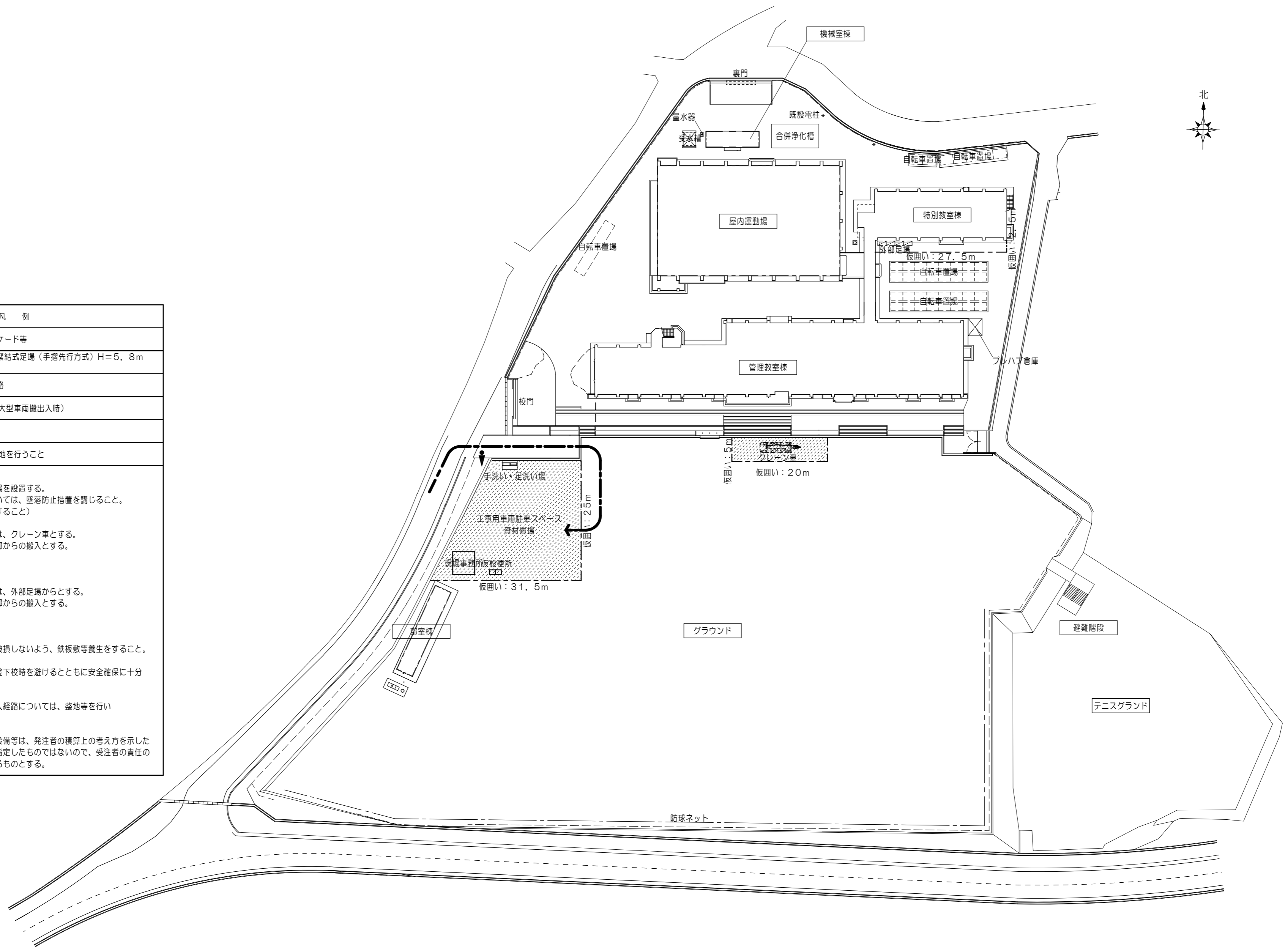
＜く通＞

※側溝・樹等は工事車両通行時に破損しないよう、鉄板敷等養生をすること。

※工事車両の出入りについては、登下校時を避けるとともに安全確保に十分配慮すること。

※工事完了時、工事車両等の搬出入経路については、整地等を行い現状復旧すること。










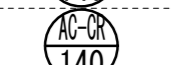









※本仮設計画図に記載された仮設設備等は、発注者の積算上の考え方を示したものであって、施工条件として指定したものではないので、受注者の責任のもとに十分検討のうえ、施工するものとする。



仮設計画図 1/600

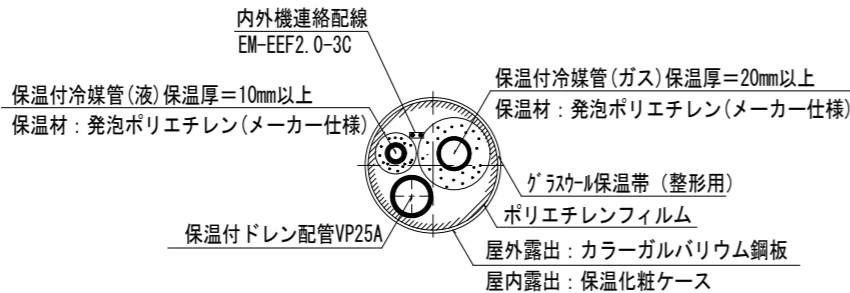
特 記 事 項		前野・西沢特定建築設計共同企業体	管 理	一級建築士 第320204号	一級建築士 第360917号	設 計 年 月 日	工 事 名 称	平成30年度（繰越事業）文教総第5号 東海中学校 空調機設置工事	図面番号	A-11	
	建築士		前野 将輝	前田 祐作							
			株式会社 前野建築設計 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 699号	管 理	一級建築士 第117422号	一級建築士 第307846号	平成31年1月 日	図 面 名 称	仮設計図面＜参考図＞	縮 尺	1/600
			西沢建築設計事務所 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 464号	建築士	西沢 雅彦	三橋 五百子					

空調設備 機器表

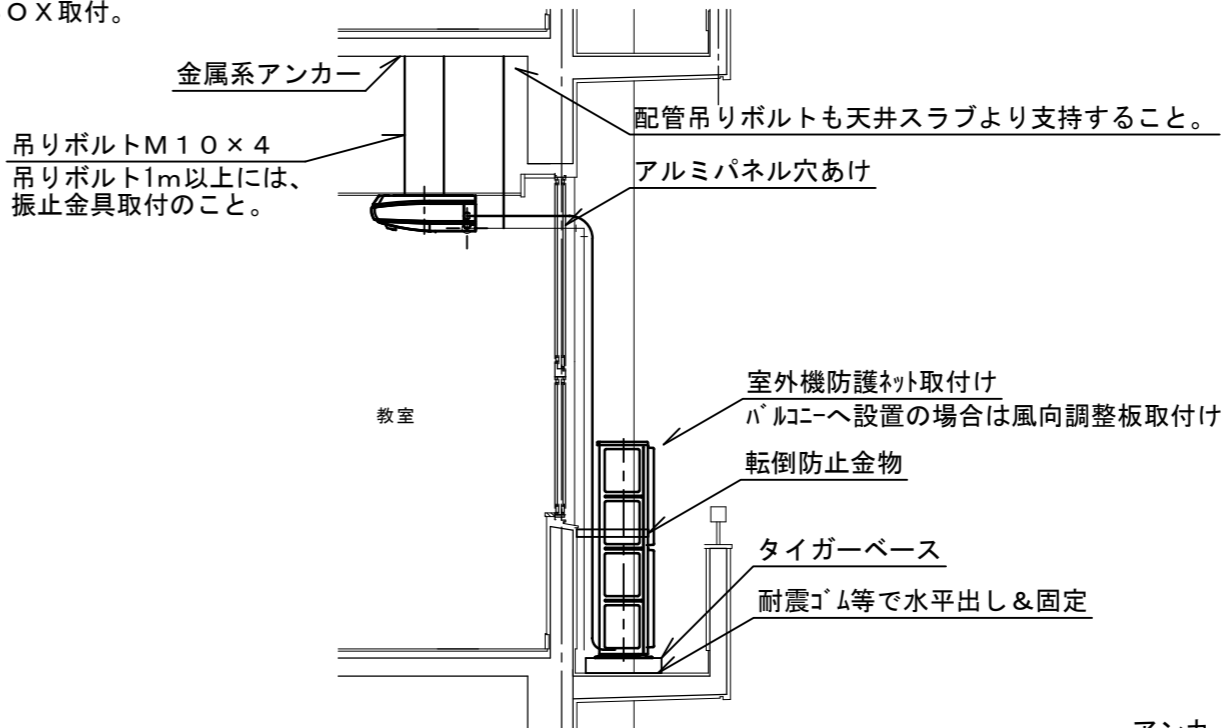
記号	名 称	冷房能力 (kW)	暖房能力 (kW)	消費電力(kW)		圧縮機電動機 出力(kW)	送風機出力 (W)	電 源 (V)	冷媒	冷媒配管 液管/ガス管	付属品	台数	校舎	階数	設置個所
				冷房時	暖房時										
	空冷ヒートポンプパッケージエアコン 室外機 耐塩害仕様	25.0	28.0	10.4	8.65	5.70	220+220	3相200V	R410A	(9.5/15.9)×2 12.7/25.4	ワイヤードリモコン 防護ネット アクティブフィルター	1	南棟	3	視聴覚教室
	天井吊型 同時ツイン 室内機	(11.3~28.0)	(12.6~35.0)				150×2								
	空冷ヒートポンプパッケージエアコン 室外機 耐塩害仕様	20.0	22.4	6.81	6.15	4.61	200+200	3相200V	R410A	(9.5/15.9)×2 9.5/25.4	ワイヤードリモコン 防護ネット アクティブフィルター	3	北棟 南棟	2 2	被服室 理科室(1)図書室
	天井吊型 同時ツイン 室内機	(10.1~22.4)	(10.1~28.0)				150×2								
	空冷ヒートポンプパッケージエアコン 室外機 耐塩害仕様	20.0	22.4	8.44	7.77	4.61	200+200	3相200V	R410A	(9.5/15.9)×2 9.5/25.4	ワイヤードリモコン 防護ネット アクティブフィルター	1	南棟	3	音楽室
	壁掛型 同時ツイン 室内機	(10.1~22.4)	(10.1~28.0)				64×2								
	空冷ヒートポンプパッケージエアコン 室外機 耐塩害仕様	14.0	16.0	4.18	4.04	2.83	71+71	3相200V	R32	(9.5/15.9)×2 9.5/15.9	ワイヤードリモコン 防護ネット	3	北棟 南棟 南棟	1 3 1	技術科室 美術教室 職員室
	天井吊型 同時ツイン 室内機	(6.3~16.0)	(7.3~20.0)				91×2								
	空冷ヒートポンプパッケージエアコン 室外機 耐塩害仕様	12.5	14.0	4.20	3.71	2.36	71+71	3相200V	R32	9.5/15.9	ワイヤードリモコン 防護ネット	9	南棟 南棟 南棟	3 2 1	普通教室(×3) 普通教室(×2)多目的室 普通教室(×3)
	天井吊型 室内機	(5.7~14.0)	(6.3~18.0)				150								
	空冷ヒートポンプパッケージエアコン 室外機 耐塩害仕様	5.6	6.3	1.62	1.60	1.10	64	3相200V	R32	6.4/12.7	ワイヤードリモコン 防護ネット	2	南棟	1	会議室、配膳室
	天井吊型 室内機	(2.6~6.3)	(2.9~8.0)				91								
	空冷ヒートポンプパッケージエアコン 室外機 耐塩害仕様	5.6	6.3	1.58	1.60	1.10	64	3相200V	R32	6.4/12.7	ワイヤードリモコン 防護ネット	2	南棟	1	校長室、保健室
	壁掛型 室内機	(2.6~6.3)	(2.9~8.0)				48								
	空冷ヒートポンプルームエアコン 室外機 耐塩害仕様	3.6	4.2	0.825	0.825	0.950	20	1相100V	R32	6.4/9.5	ワイヤレスリモコン 防護ネット	1	南棟	1	事務室
	壁掛型 室内機	(0.7~4.1)	(0.6~7.7)				26								
	空冷ヒートポンプルームエアコン 室外機 耐塩害仕様	2.2	2.5	0.425	0.450	0.600	12	1相100V	R32	6.4/9.5	ワイヤレスリモコン 防護ネット	3	南棟	1	用務員室・相談室1・相談室2
	壁掛型 室内機	(0.5~3.3)	(0.6~6.2)				19								
	エアー搬送ファン インテリアタイプ AH-1312S-X(三菱電機)	平均風速 風 量 騒 音 消費電力	(強)4.3 (強)760 (強)34 (強)37	(弱)2.8 (弱)490 (弱)23 (弱)19	(m/s) (m³/h) (dB) (W)			1相100V			コントロールスイッチ(強弱ノッチ)	1	南棟	1	職員室

※ 製造者上位機種で選定のこと。
※ 機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。但し該当しない機器については製造者標準仕様による。
※ グリーン購入法調達基準適合品、2015年省エネ基準クリア品であること。
※ 電源周波数は60Hzとする。電動機容量・消費電力等については参考値とする。

※ 冷暖房能力はJIS標準値とする。
※ 室外機、防護ネット(学校用安全ネット)を取付。
※ 室外機前方吹出側スペース500mm以下の場合風向調整板を取付。
※ 普通教室・特別支援教室・特別教室には鍵付リモコンBOX取付。
※ 室外機基礎、タイガーベース、転倒防止金具を取付。



屋内外露出部冷媒配管保温要領図






アンカー引抜試験は室内機1台につきアンカー1本とし、室内機荷重以上の引張強度を確保することを確認すること。但し全数目視接触打音検査を行うこと。

空調設備 断面図 1/50




特 記 事 項		前野・西沢特定建築設計共同企業体 株式会社 前野建築設計 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 699号 西沢建築設計事務所 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 464号	管 理 建 築 士 管 理 建 築 士	一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第360917号 前田 祐作	設 計 年 月 日	工 事 名 称	平成30年度(繰越事業)志教総第5号 東海中学校空調機設置工事	図面番号	M-02
				一級建築士 第117422号 西沢 雅彦	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	平成31年 1月 日	図 面 名 称	空 調 設 備 機 器 表	縮 尺	N S



凡 例	
	空調機器の新設諸室を示す
	空調機器の更新諸室を示す（既設撤去・新設）
	既存空調機器設置室（改修範囲外）

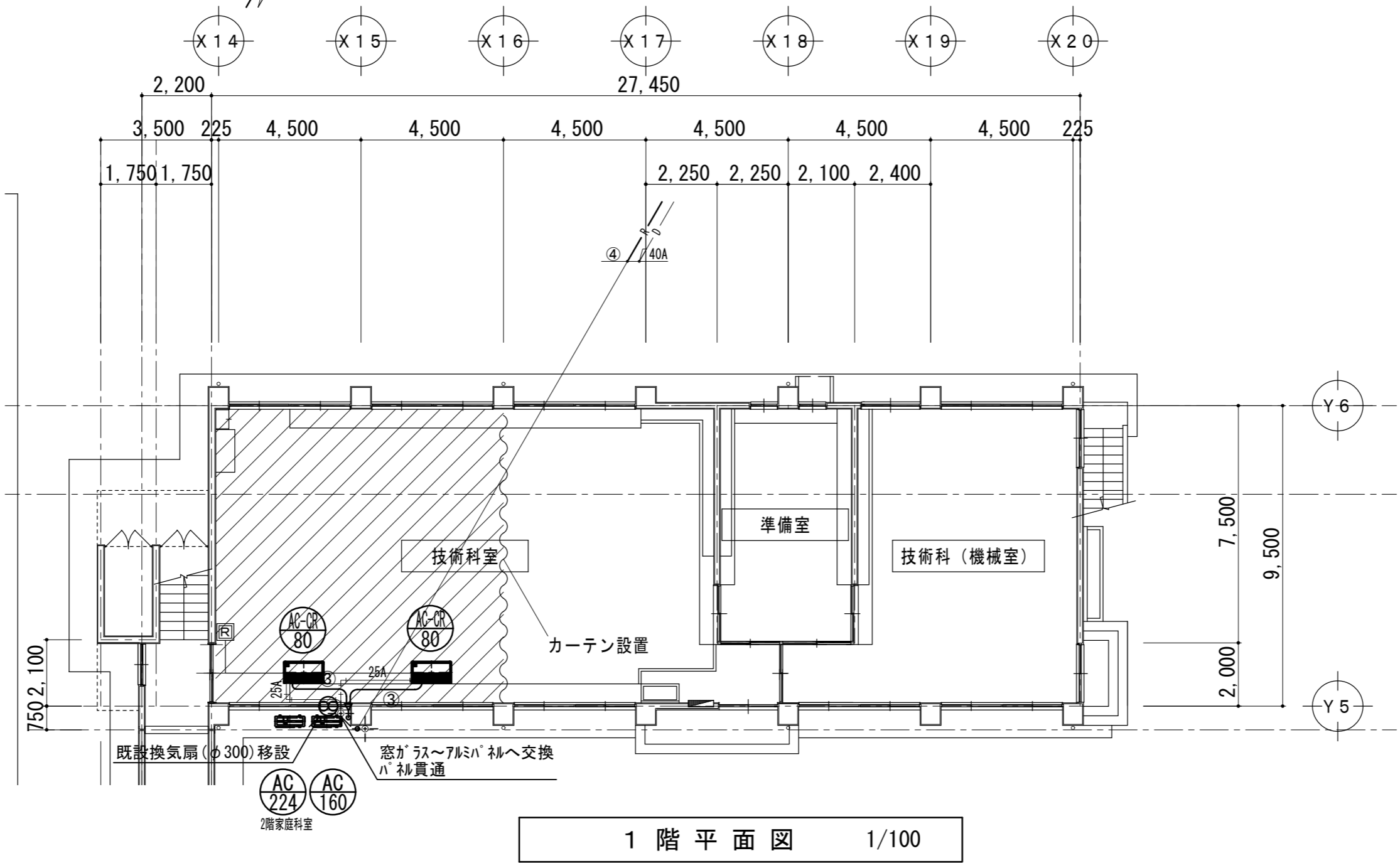
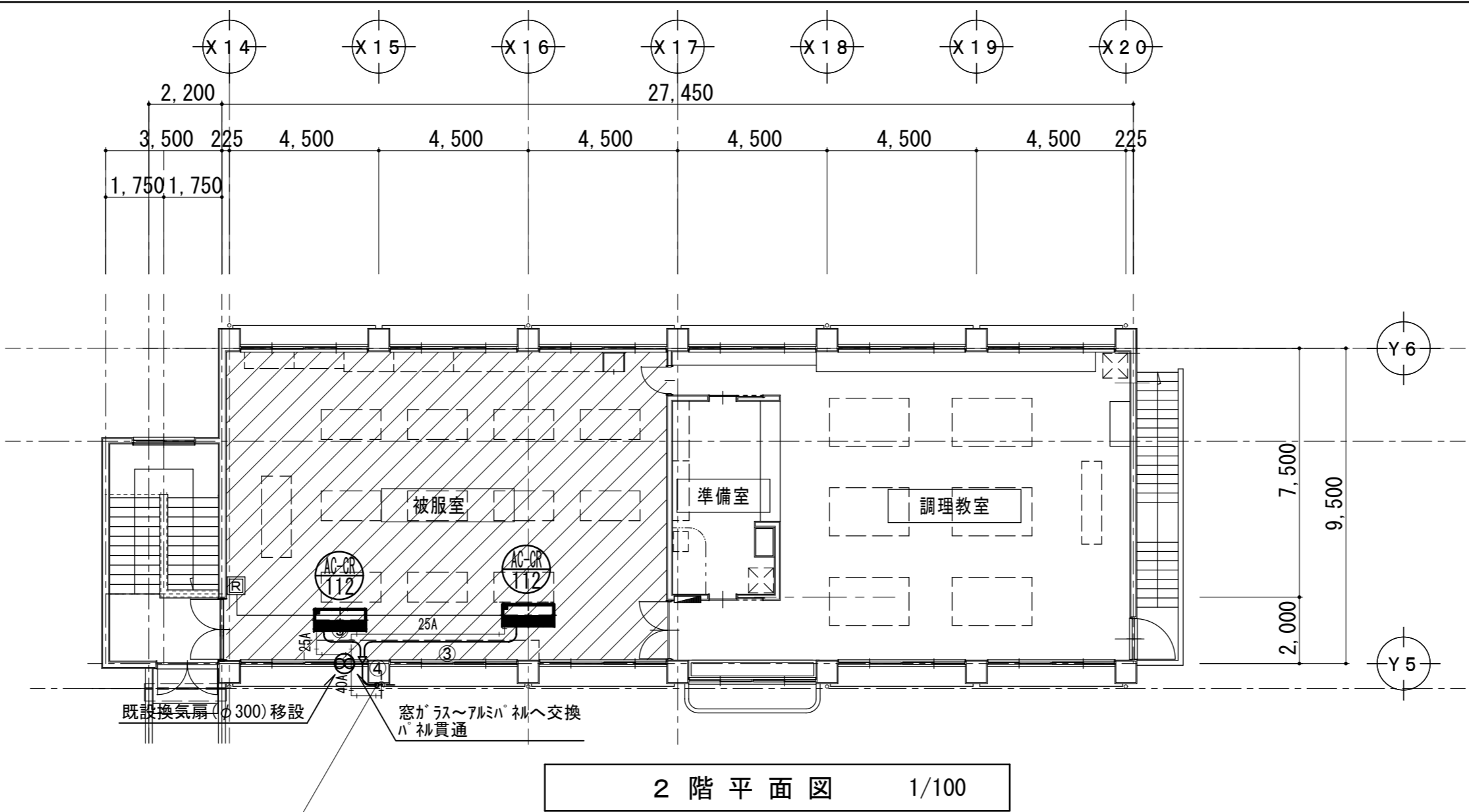
特 記 事 項		前野・西沢特定建築設計共同企業体	管 理	一級建築士 第320204号	一級建築士 第360917号	設 計 年 月 日	工 事 名 称	平成30年度（緑越事業）志教総第5号 東海中学校空調機設置工事	図面番号	M-04	
			建築士	前野 将輝	前田 祐作						
			株式会社 前野建築設計 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 699号	管 理	一級建築士 第117422号	一級建築士 第307846号	平成31年 1月 日	図 面 名 称	空調設備 2階平面図	縮 尺	1/150
			西沢建築設計事務所 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 464号	建築士	西沢 雅彦	三橋 五百子					



凡 例	
	空調機器の新設諸室を示す
	空調機器の更新諸室を示す（既設撤去・新設）
	既存空調機器設置室（改修範囲外）

特 記 事 項	前野・西沢特定建築設計共同企業体 株式会社 前野建築設計 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 699号 西沢建築設計事務所 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 464号		管 理 建築士	一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第360917号 前田 祐作	設 計 年 月 日	工 事 名 称	平成30年度（緑越事業）志教総第5号 東海中学校空調機設置工事	図面番号	M-05
			管 理 建築士	一級建築士 第117422号 西沢 雅彦	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	平成31年 1月 日	図 面 名 称	空調設備 3 階平面図	縮 尺	1/150

パナソニックエアコン冷媒管リスト(参考)			
記号	ガス管	液管	屋内外機連絡線
①	9.5φ	6.4φ	EM-EEF2.0-3C
②	12.7φ	6.4φ	EM-EFE2.0-3C
③	15.9φ	9.5φ	EM-EEF2.0-3C
④	25.4φ	9.5φ	EM-EEF2.0-3C
⑤	25.4φ	12.7φ	EM-EEF2.0-3C
連絡線は冷媒配管共巻き。			
Ⓜ	リモコン		
Ⓜ	リモコン	鍵付リモコンBOX取付	
リモコン配線 EM-CEE1.25sq-2C			
露出部分は第1種金属線ぴ。			

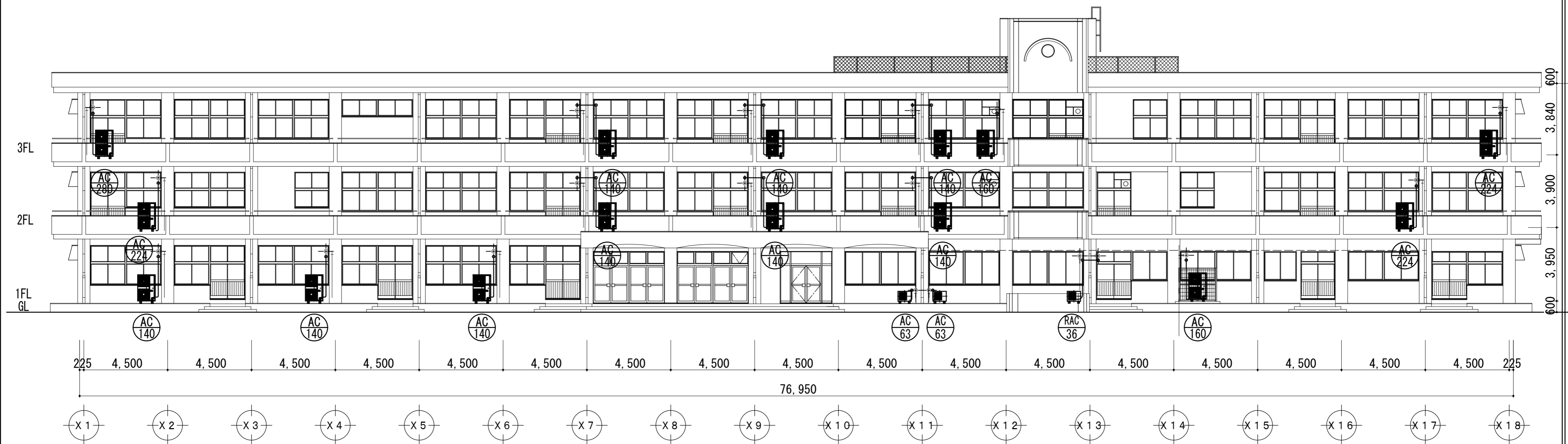


凡 例	
	空調機器の新設諸室を示す
	空調機器の更新諸室を示す(既設撤去・新設)
	既存空調機器設置室(改修範囲外)

特 記 事 項		前野・西沢特定建築設計共同企業体	管 理 建 築 士	一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第360917号 前田 祐作	設 計 年 月 日	工 事 名 称	平成30年度(繰越事業)志教総第5号 東海中学校空調機設置工事	図面番号	M-06
		株式会社 前野建築設計 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 699号 西沢建築設計事務所 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 464号	管 理 建 築 士	一級建築士 第117422号 西沢 雅彦	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	平成31年 1月 日	図 面 名 称	空調設備 1・2階平面図	縮 尺	1/150






南 面 立 面 図 1/100 特別教室棟



南 面 立 面 図 1/100

特 記 事 項		前野・西沢特定建築設計共同企業体 株式会社 前野建築設計 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 699号 西沢建築設計事務所 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 464号	管 理 建 築 士 一級建築士 第320204号 前野 将輝 管 理 建 築 士 一級建築士 第117422号 西沢 雅彦	一級建築士 第360917号 前田 祐作 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設 計 年 月 日	工 事 名 称	平成30年度（繰越事業）志教総第5号 東海中学校空調機設置工事	図面番号	M-07
					平成31年 1 月 日	図 面 名 称	空調設備 立面図	縮 尺	1/150

1 階 平 面 図

凡 例	
	空調機器の新設諸室を示す
	空調機器の更新諸室を示す（既設撤去・新設）
	既存空調機器設置室（改修範囲外）

特 記 事 項			前野・西沢特定建築設計共同企業体	管 理 建築士	一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第360917号 前田 祐作	設 計 年 月 日	工 事 名 称	平成30年度（緑越事業）志教総第5号 東海中学校空調機設置工事	図面番号	M-08	
				管 理 建築士	一級建築士 第117422号 西沢 雅彦	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	平成31年 1月 日	図 面 名 称	空調設備 1階平面図（既設撤去）	縮 尺	1/150	

電 気 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

I 工事概要

1 工事場所

志摩市内

2 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	消防令別表第一	備考
東海中学校					

3 工事種別（○印のあるものを適用する。）

建物別 工事種目	東海中学校				
受変電設備	○				
自家発電設備					
電灯設備					
動力設備	○				
避雷針設備					
構内配電線路					
電話配管設備					
インターホン・電気錠設備					
拡声設備					
電気時計設備					
テレビ共聴設備					
表示設備 <small>（トイと呼出し表示）</small>					
火災報知設備					
防犯配管設備					
構内交換設備					
構内通信線路					
A V設備工事					
I T V設備工事					

II 工事仕様書

1 共通事項

図面及び特記仕様書に記載されていない事項はすべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の電気設備工事、建築工事、機械設備工事標準仕様書（平成28年版）及び標準図（平成27年版）工事監理指針（平成28年版）による。但し標準図による図示記号、区分、名称の記入なきものは標準図を適用しない。図面と仕様書に差異がある場合及び不明な箇所が生じた場合は全て監督員の指示による。

2 特記仕様書

1）項目は番号に○印の付いたものを適用する。
2）特記事項は○印の付いたものを適用する。

3 設計図書優先順位

設計図書中に相互に差異のある場合の優先順位は次の通りとする。
但し現場説明書及び質疑回答書は最優先とする。
1 特記仕様書 2 設計図 3 標準仕様書

項 目	特 記 事 項
① 機材等の指定	○ 設備機材等指定表によるほか同等品以上とする。但し同等品以上とする場合は監督員の承諾を受ける。
② 施工従事者	○ 自家用電気工作物においても法令で定める電気工事とする。
3 工事用仮設	・ 工事区分表による。
4 残土処分	・ 構内指示場所に敷ならし。 ・ 構内指示の場所に推積。 ・ 構外搬出適切処分
⑤ 埋戻し土	○ 根切土の中の良質土 ・ 山砂類（購入土）
⑥ 発生材の処分	○ 自由処分 ・ 市に引渡 ○市に引渡しを要するもの
7 再使用機器	・ なし ・ 清掃絶縁抵抗測定の上取り付ける。
⑧ 提出書類及び期限（原則としてA版とする）	・ 別紙による
⑨ 引渡書類	・ 別紙による
⑩ 官公庁その他手続き	○工事の施工に必要な手続きは請負者の責任とし、その費用は請負者の負担とする。 尚、各種手続き一覧表を作成の上、事前に提出し係員の承諾を得る事。 ・測定箇所は10ヶ所以上 （注）係員の指示ある場合はそのヶ所による。 設備機器の固定は建設省住宅局建築指導課監修の建築設備耐震設計施工指針による。
⑪ 照度測定	○本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は本工事とする。
⑫ 耐震施工	○工事区分表による。
⑬ 既設との取合い	○工事に伴う官公署への申請、届け出は請負者において行い、これに伴う費用も本工事に含む。
⑭ 他工事との取合い	
⑮ 他工事との取合い	

⑮ 工事写真

・工事写真の撮り方／建築、及び同/建築設備に従い撮影する。
電子納品とし、次のものを提出する。

全写真のサムネールを印刷したもの（A4版） 1部
代表的写真を抽出し、L版相当サイズで印刷（A4版用紙に1ページあたり3枚）印刷したもの 1部
当繕工事完成引渡要領により作成する。

※ 建築工事特記仕様書による。

16 完成図等

⑰ 塗装

塗装場所	機材	状態	塗装の種別	塗り回数	備考
金属製ブルボックスダクト			調合ペイント	2	内面は除く
金属製の支持金物 架台など		露出	サビ止めペイント	2	（合計4回）
			調合ペイント又はアルミニウムペイント	2	
		陰べい	サビ止めペイント	2	
電線管		露出	エッチングプライマー	1	
			調合ペイント又はアルミニウムペイント	2	

（備考） 配線室、共同構内は露出として扱う。

○電力及び電話引込線の引止方法、位置については電力会社、及び電話会社と打合わせの上監督員との協議により施工する。

○配線器具は（○大角形 ・ワイド形）スイッチは（・一般 ○ネーム付）とする。

○配線器具のプレートは（○新金属製 ・樹脂製）とする。

・フロアボックスのプレートは（・アルミダイカスト製・鋼合金製）とする。

○機器を塗装しないボックス等には用途表示を行う。

・ブルボックスの使用区分は、屋内一般は鋼製、屋内多湿箇所は塩化ビニル製、屋外はステンレス製とする。また、鋼製及びステンレス製は接続端子付とする。

○ブルボックスの止めネジは、鋼製にはクロムメッキ製、塩化ビニル製及びステンレス製にはステンレス製とし、ねじの頭部はプラスとする但し陰べい部分に付けるブルボックスの止めねじは、蝶ねじとする

・盤類には、盤面体より（・二重天井内 ・床下）迄予備配管（31）1本を施工する。

○配管の使用区分は原則として次による。

屋内幹線（陰べい、打ち込み） ・ ・ E管
屋内幹線（露出） ・ ・ C P管
屋外（地中） ・ ・ F E P管
屋外（露出） ・ ・ C P管
H、H～盤 ・ ・ H I V E管
屋内分岐（陰べい、打ち込み） ・ ・ P F 1重管
屋内分岐（露出） ・ ・ C P管 マタルモール

○露出配管はねじ込み接続とする。

○配管等の支持間隔は次による。

金属管 ・ ・ 2. 0mm以下 金属ダクト ・ ・ 水平2. 0mm以下
合成樹脂管 ・ ・ 1. 5mm以下 垂直3. 0mm以下
P F管 ・ ・ 1. 0mm以下 金属線び配線 ・ ・ 1. 0mm以下
ライティングダクト ・ ・ 2. 0mm以下
合成樹脂線び配線 ・ ・ 0. 5mm以下

○露出配管をサドル止めする場合は両サドルとする。

○配管工事だけの場合は、呼び線（ビニール被覆鉄線1. 2mm）を挿入する。

○幹線用ブルボックス及び盤内その他要所のケーブル電線には、ファイバー製の名れを取付回路の種別、行く先等を表示する。但しH、H内はプラスチック製（エッチング）とする。

・地中電路には全て、標識シート及び埋設表示杭を設け、埋設表示杭の位置を施工図に付すこと。

・ハンドホールの天端はGL＋2. 0mmとする。但しアスファルト用はGL±0mmとする。

○金属管と配分電盤、ブルボックスなどとの間はボンディングを行い電氣的に接続する。

○機器及び配管等の塗装色は監督員の指示による。

○工事に必要な既設機器等の脱着については図面に指示なくても行うこと。

○工事着工前に絶縁抵抗測定を行い記録しておくこと。また工事完了後においても絶縁抵抗測定等、その他監督員の指示による測定を行うこと。

⑱ 電力等の引込み

⑲ 施工一般

⑥ 設備容量

○変圧器容量 別図による
○高圧コンデンサー総容量 別図による

7 避雷器
8 接地

・ 設ける
・ A種D種共用 B種単独 ・ 単独
・ 共用（2Ω以下）
・ 接地埋設位置近くに接地埋設設標を設ける
・ 但し避雷極接地は単独とする。

9 接地用端子函
10 換気扇
11 基礎及びフェンス
12 その他

・ 設ける。 （ ）
・ 設ける。（温度感知形）
・ 本工事 ・ 別途工事
・ 消防庁認定品

① 自家発電設備

1 形式
2 発電機
3 原動機

・ オープン ・ 簡易形 ・ キュービクル形
・ 電気方式 ・ 三相3線式 ・ 電圧200V
・ 定格出力 KVA
・ 種類 ・ ディーゼルエンジン
・ 始動方式（・電気式 ・ 空気式）
・ 冷却方式（・水冷循環式 ・ ラジエーター式）
・ 種類 （・A重油 ・ 軽油 ・ 灯油）
・ 小出槽 リットル
・ 地下貯油槽 リットル
（・本工事 ・ 別途工事 ・ 専用 ・ ボイラーと共用）
・ 本工事 ・ 別途工事
・ 消防法認定品

② 電灯設備

1 電気方式

・ 幹線 ・ 単相3線式200／100V
・ 直流2線式100V
・ 分岐 ・ 単相2線式100V
・ 直流2線式100V
・ 単相2線式200V

2 分電盤
3 フローコンセント
4 非常用照明器具
5 蛍光灯安定器

・ 埋込型 ・ 半埋込型 ・ 露出型、鉄製・指定色
・ アップコン ・ 収納式（上下可動）
・ 電池内蔵 ・ 電源別置
・ LED方式とする。

③ 吊りボルト

種類	ボルト本数9φ
電池内蔵型白熱灯器具	1以上
電池内蔵型蛍光灯20W×1以上	2以上
蛍光灯20W×2以上、40W×1以上	
蛍光灯20W×4以上、40W×5以上	4以上
その他器具重量1. 5kg以上	必要数

家庭用吊り下げ器具及びシステム天井器具は除く

・ 分電盤の図面ホルダーに、単線結線図を具備する。

④ 動力設備

① 電気方式
2 制御盤
③ 手元開閉器
4 電流計
5 その他

・ 幹線 ・ 三相3線式200V
○分岐 ○三相3線式200V
・ ドア裏面の充電部に感電防止の処置を施す。
○配電図 ・ 鉄箱
・ 0. 2KW以上の電動機に設置（管理指針付き）
・ 別途機器への接続は本工事とする。
・ 分電盤の図面ホルダーに、単線結線図を具備する。

⑤ 避雷針

1 受電部
2 避雷導線
3 接地極
4 接地用端子函

・ 突針 ・ 棟上げ導体 ・ 架空線式
・ 銅より線 ・ 銅帯 ・ 建築構造体利用
・ 単独 ・ 建築構造体利用
・ 黄銅製 ・ ステンレス製

⑥ 構内配電線路

① 配線方式
② 地中線路の余長
③ 地中線路保護材料
④ 電柱等立上り部
⑤ 高圧気中開閉器
⑥ 装柱器材
7 外灯接地
8 外灯の点滅方法
⑨ その他
⑩ 地下埋設標

○地中線式（・直埋式 ○管路式） ○架空線式
○マンホール、ハンドホール内でケーブルの余長を見込む。
・ 直埋式の道路横断ヶ所は管路としその両端は余長を見込む。
○波付硬質ポリエチレン管（FEP）
・ 厚銅電線管（地中部分ジュート巻又は防食テープ巻）
○耐衝撃性硬質ビニール電線管（HIVE）
・ ポリエチレン被覆銅管（PLP）
・ 耐塩型 ○重耐塩型
・ 地路 ・ 過電流地路 ○過電流方向性地路
○耐塩型（ケーブル端末処理材共） ・ 一般型
・ 単独 ・ 共用（ケーブル1芯線使用）
・ 自動（・タイマー ・ 光電式自動点滅器）
・ 手動 ・ 自動－手動併用
○埋設深さ（・H＝1. 2m以上 ○H＝0. 6m以上）
・ 杭 ○シート

⑦ 電話設備

1 ローテーションアウトレット
2 工事範囲

・ 一般型 ・ ボタン型
・ 配管 ・ 配線 ・ 接地工事

⑧ インターホン設備

1 電気方式
2 機種
3 通話方式
4 機器使用

・ AC ・ DC
・ 電話形親機 ・ スピーカ形親機 ・ ナースコール
・ 電話形子機 ・ スピーカ形子機
・ 親子式 ・ 相互式 ・ 同時式 ・ 交互式
・ 校内連絡用 ・ 身体障害者用 ・ 夜間受付用

⑨ 拡声設備

1 増幅器（既設）
2 マイクロホン
3 ワイヤレス受信機

・ 種類 （・一般放送用 ・ 非常放送用 ・ 併用）
・ 形式 （・卓上形 ・ 壁掛形 ・ キャビネットラック形 ・ デスク形）
・ 定格出力 ・ 性能 級
・ 付加機器（・コールサイン ・ モニター ・ AM、FMラジオ付 ・ リモコンマイク ・ マイク入力 回路
・ 出力スイッチボード 回路
増幅器の入出力配線と外部配線（壁ボックス等）の接続はコネクタによる。

・ ダイナミック形（単一指向性） ・ 性能 級 本
・ ワイヤレス式 4本
・ マイクロホンスタンド （・卓上形 1本 ・ 床上形 1本）
・ リモコンマイク（卓上形 本）
・ 延長コード（10m×各 本）
・ 水晶制御方式 チューナー2チャンネル内蔵
・ 800MHZ

⑩ 電気時計設備

1 パルス発生器
2 子時計
3 体育館用時計
4 屋外ポール時計

・ 水晶式 型 1回線 精度 級
・ 時報器 （・プログラムタイマー ・ チャイム）
・ 埋込 ・ 壁掛け ・ スピーカ付
・ アナログ ・ デジタル

⑪ テレビ共聴

1 同軸ケーブル
2 アンテナ
3 アンテナ支持
4 増幅器
5 電界強度の測定
6 電波障害調査

・ 高周波同軸ケーブル（2V）
・ 発泡ポリエチレン絶縁同軸ケーブル（FE）
・ AU－1形 ・ AU－2形
・ 側面 ・ 自立
・ UV－2 ・ U－2
・ 要 ・ 不要
・ 事前調査ポイント 箇所 ・ 事後調査ポイント 箇所

⑫ 表示設備

1 電気方式
2 表示盤
3 発信器
4 その他

・ AC ・ DC
・ 窓数 1窓
・ 埋込形 ・ 露出形 ・ ランプ付 ・ 防水
・ 同一室内に取り付ける電鈴、ブザー等の音色は異なるものとする。

⑬ 火災報知設備

1 火災報知装置
2 非常警報装置
3 ガス漏れ警報装置
4 その他

・ 受信機 ・ 壁掛型 ・ 自立型 ・ 単独
・ 副受信機 窓
・ 一体形 ・ 単独
・ 受信機 級 回線 ・ LPガス用 ・ 都市ガス用
・ 壁掛形 ・ 自立形 ・ 単独 ・ 一体形（総合防災盤組み込み）
・ 検知器 ・ プラグ式 ・ 固定式
・ 防犯設備も含む ・ 非常通報設備も含む
SFD－119（電気通信共済会）

⑭ 防火戸設備

1 連動制御器
2 自動閉鎖装置

・ 回線（遠方復帰機構 回線）
・ 壁掛形 ・ 自立形 ・ 単独
・ 防火戸用 ・ 防火ダンパー用 ・ 防火シャッター用
・ 単独 ・ 一体形

⑮ 構内交換設備

1 交換機機種
2 回線数
3 電話機

・ ボタン電話式 ・ 電子式
・ 内線 ／ 回線（実装 回線）
・ 局線 ／ 回線（実装 回線）
・ 卓上 ・ 壁掛け ・ ダイアル式 ・ プッシュボタン式

⑯ 構内通信線路

1 配線方式
2 地中線の余長
3 地中線保護材料
4 電柱等立上り部
5 その他
6 地下埋設標

・ 地中線式（・直埋式 ・ 管路式） ・ 架空線式
・ マンホール、ハンドホール内でケーブルの余長を見込む
・ 直埋式の道路横断ヶ所は管路としてその両端は余長を見込む
・ 耐衝撃性硬質ビニール電線管（HIVE）
・ 波付硬質ポリエチレン管（FEP）
・ 厚銅電線管（地中部分ジュート巻又は防食テープ巻）
・ 耐衝撃性硬質ビニール電線管（HIVE）・ポリエチレン被覆銅管（PLP）
・ 埋設深さ（・H＝1. 2m以上 ・ H＝0. 6m以上）
・ 杭 ・ シート

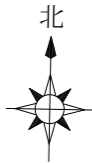
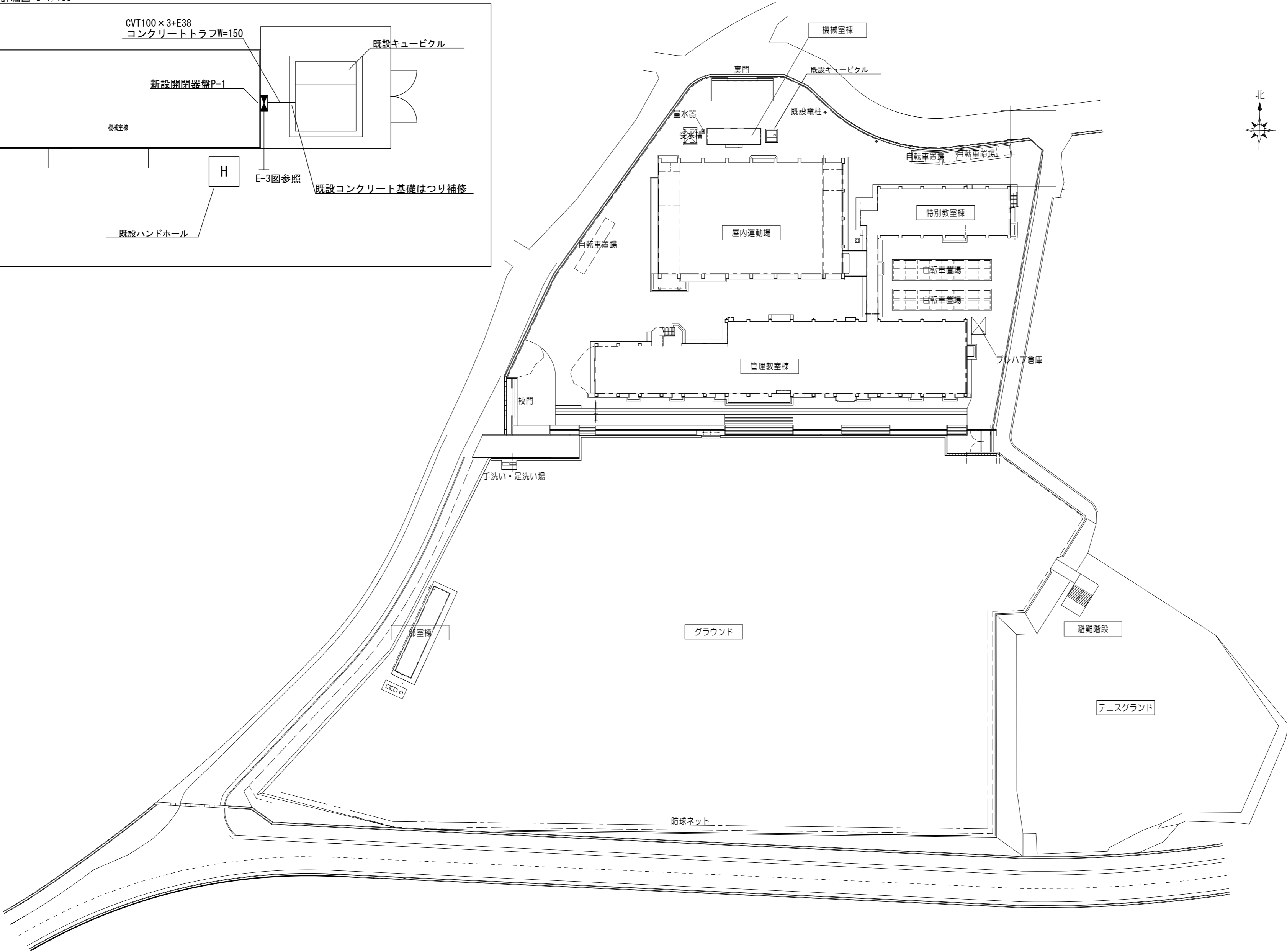
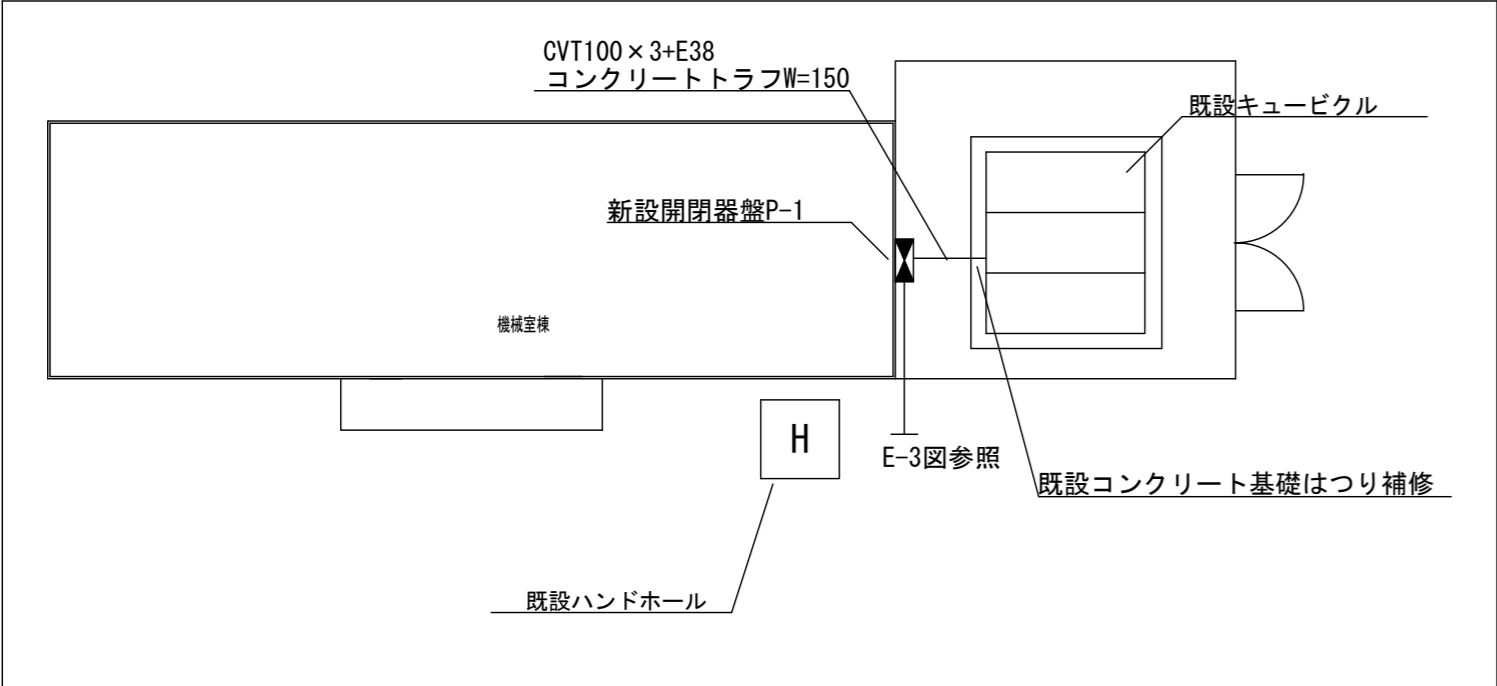
⑰ その他

1 スリーブ

・ 地中部分はVP管とする。 ・ 水密を要する部分はツバ付銅管とする。
・ 一般は紙スリーブとする。但し防火区画貫通部分は銅管とする。

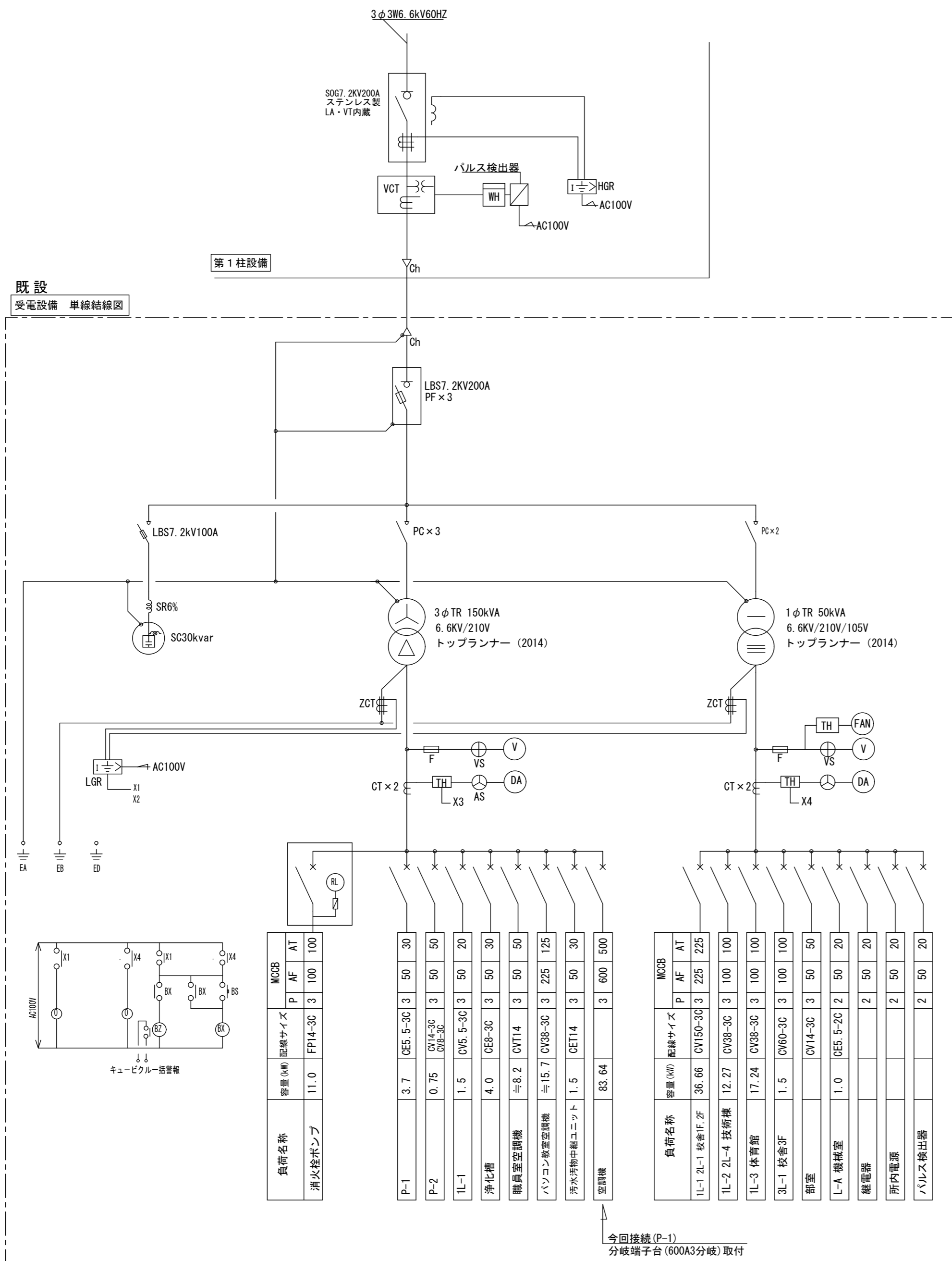
特記事項		前野・西沢特定建築設計共同企業体	管 理 建築士	一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計年月日	工事名称	平成30年度（繰越事業）文教総第5号 東海中学校空調機設置工事	図面番号	E-01
			管 理 建築士	一級建築士 第117422号 西沢 雅彦	一級建築士 第307846号 三橋 五百子					
						平成31年 1月 日	図 面 名 称	電気設備特記仕様書	縮 尺	N/S

キュービクル廻り詳細図 S=1/100

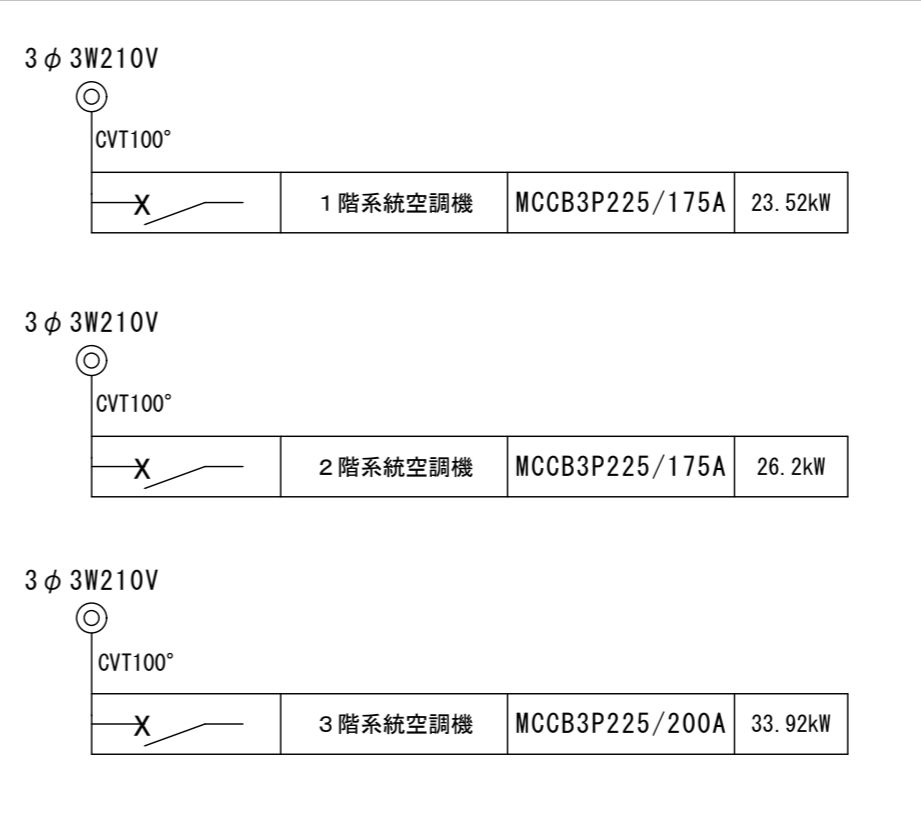


配置図 1/600

特 記 事 項		前野・西沢特定建築設計共同企業体	管 理 建築士	一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第360917号 前田 祐作	設 計 年 月 日	工 事 名 称	平成30年度（繰越事業）志教総第5号 東海中学校空調機設置工事	図面番号	E-02
		株式会社 前野建築設計 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 699号 西沢建築設計事務所 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 464号	管 理 建築士	一級建築士 第117422号 西沢 雅彦	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	平成31年 1月 日	図 面 名 称	電気設備配置図	縮 尺	1/600 1/100

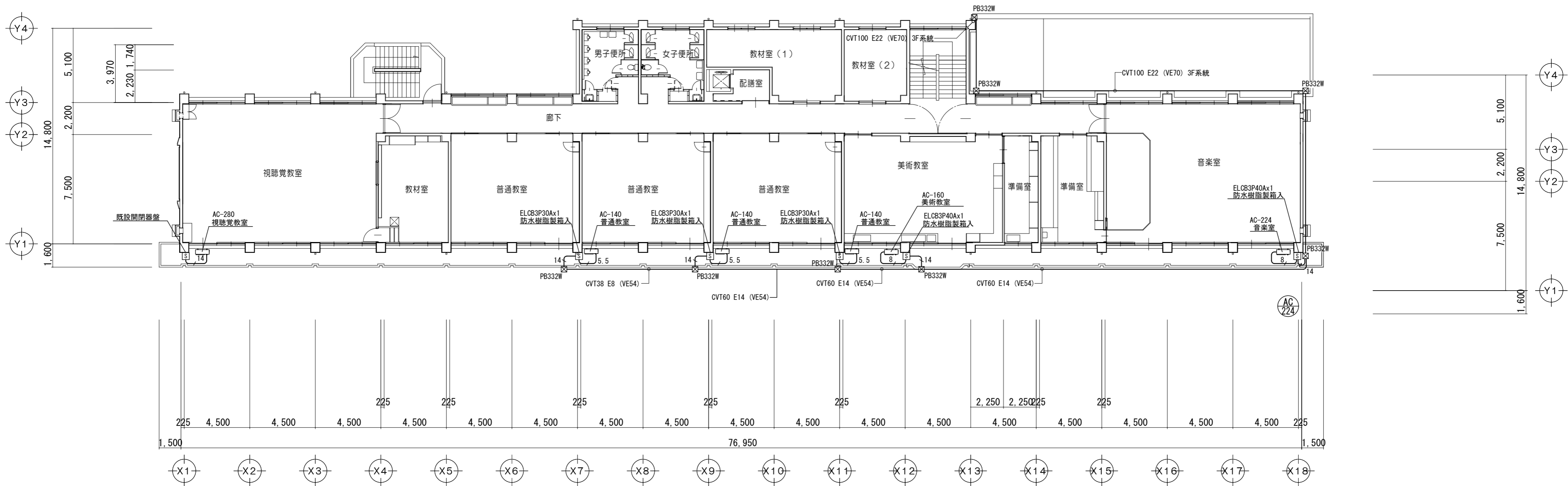
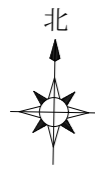


P-1 (屋外壁掛型 SUSWP)



※既設キュービクルからP-1へはC V T 1 0 0 ° × 3 本で配線されるため、これに対応可能な処置を施す。

特 記 事 項					前野・西沢特定建築設計共同企業体				管 理 建 築 士	一 級 建 築 士	第 320204 号 前 野 将 輝	一 級 建 築 士	第 360917 号 前 田 祐 作	設 計 年 月 日	工 事 名 称	平成30年度（繰越事業）志教総第5号 東海中学校空調機設置工事	図 面 番 号	E-03
					株式会社 前野建築設計 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 699号 西沢建築設計事務所 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 464号				管 理 建 築 士	一 級 建 築 士	第 117422 号 西 沢 雅 彦	一 級 建 築 士	第 307846 号 三 橋 五 百 子	平成31年 1 月 日	図 面 名 称	受変電設備図	縮 尺	N/S



3 階 平 面 図 1/200

特 記 事 項		前野・西沢特定建築設計共同企業体 株式会社 前野建築設計 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 699号 西沢建築設計事務所 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1- 464号	管 理 建築士 管 理 建築士	一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第360917号 前田 祐作	設 計 年 月 日	工 事 名 称	平成30年度（繰越事業）志教総第5号 東海中学校空調機設置工事	図面番号	E-06
				一級建築士 第117422号 西沢 雅彦	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	平成31年 1 月 日	図 面 名 称	空調電源設備 3 階平面図	縮 尺	1/200